きらめき III

歴史文化の薫り

歴史文化

国宝の名刹や古刹が点在し、
歴史情緒あふれる宿場町の風景が広がる。
知られざる名所の数々と出会えます。

歴史と文化が薫る伝統のきらめき

数多くの寺社仏閣が点在する湖南市。中でも、常楽寺・長壽寺・善水寺を「湖南三山」と呼んでいます。いずれの寺にも国宝に指定されている建造物がある他、常楽寺は千手観世音菩薩、長壽寺は子安地蔵菩薩、善水寺は薬師瑠璃光如来といった秘仏をご本尊としています。また、石部宿は「京立ち、石部泊まり」といわれ、江戸・伊勢へと向かう多くの旅人でにぎわった東海道五十三次の51番目の宿場で、現在は本陣跡や高札場跡などが残り、風情ある旧街道がたたずんでいます。

天保義民碑

明治維新のきっかけとなったともいわれる、4万人の農民による天保一揆の義挙を後世に伝えようと、伝芳山に建立されています。高さ約10mを誇る立派な義民碑です。

きらめきバトン

湖南市伝統の行事を次の世代へとつなぐ

市内には、「鬼走り」や「勧請縄吊」「ぼんのこへんのこ祭」など多くの伝統行事が残されています。長壽寺では、地元の小学校の児童に「鬼走り」の体験をしてもらうなど、伝統行事を次の世代につなぐための工夫をされています。

石部宿 田楽茶屋

安藤広重が描いた田楽茶屋をもとに再現された休憩所。東海道を歩く旅人や地域の人に飲食を提供しています。

三雲城跡

室町時代後期、三雲典膳が築城したと伝えられる山城跡。八丈岩と呼ばれる巨大な岩や石垣が残り、美しい眺望を楽しむことができます。

大沙川隧道

明治17年に建設された大沙川隧道は、建設当初の位置で現存する現役の石造道路隧道としては日本最古のものです。

磨崖不動明王尊

岩根山の中腹の絶壁に刻まれ、渓谷を隔てた道からでもそのスケールの大きさがはっきりわかるほどの巨大な石仏です。